

【第8回郡山緩和ケアネットワークの集い】

【はじめに】

今回の当会は下記のテーマで行います。特別講演として東北大学医学部保健学科教授宮下光令先生をお招きしています。講演の要旨は「J-HOPE研究の主たる目的である緩和ケアの質の評価について解説するとともに、臨終前後の望ましいケア、看護師と一緒に死後の処置を行ったことの遺族の評価、遺族調査に参加することの辛さと良かったこと、など付帯研究からの臨床的な学びについても紹介する」とあり、大変興味深い内容です。皆様のご参加をお待ちしております。

◇日 時：2016年5月18日(水) 18:00～20:45

◇会 場：郡山市向河原町159-7 星総合病院

ポラリス保健看護学院「メグレスホール」

◇事前申し込みは不要です。



テーマ：緩和ケアの質の評価と多職種連携

【司会：開会挨拶】星総合病院 緩和ケア病棟主任看護師 久保木 優佳

【情報提供：1】18:00-18:15

『尋常性乾癬治療剤 ドボベット軟膏について』

演者：協和発酵キリン株式会社 福島第2営業所 中島 大輔

【情報提供：2】18:15-18:30

『オキシコドン徐放カプセルの使用法』

演者：テルモ株式会社 東北支店 稲坂 和裕

【講演1】18:30-19:00

『緩和ケアにおける臨床心理士の役割：多職種連携の立場から』

演者：星総合病院 臨床心理士 桐生 亜紀

【講演2】19:00-20:30

『多施設遺族調査J-HOPE研究による緩和ケアの質の評価と遺族の声からの学び』

演者：東北大学医学部保健学科 家族支援看護学講座
教授 宮下光令先生

【まとめ/総合討論】20:30～20:45

星総合病院 緩和医療科部長 関 茂樹

※軽食をご用意しております（なおメグレスホール内での飲食はお控え下さい）

※お問合せ先：テルモ株式会社 TEL:080-1005-7126

共催：星総合病院 テルモ株式会社 協和発酵キリン株式会社